



市長との約束 2024

私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

世界農業遺産推進監

安部 祐輝

約束内容	世界農業遺産とSDGsの推進
達成目標	世界農業遺産については、フィールドミュージアム構想の推進，ブランド化の推進，人材育成の3本柱で推進を図るが，魅力を向上させ，活用することに力点を置き，農家や市民が多くのメリットを享受できるよう目指します。 世界農業遺産と連動するSDGsについては，市民・企業等の積極的な関わりや行動を増やしながら，ネイチャーポジティブの推進を図ります。
達成度	S 達成目標を大きく上回る ★★★★★
達成状況	○世界農業遺産：ブランド認証農産物のパンフレット刷新，商談会出展を実施，今後は生協等と商品化につながる対話を進めたい。 ○世界かんがい施設遺産：南原穴堰，無事にシドニーで認定，眠る宝に光をあてることができ，シンポジウムで市内外と共有することができた。今後は地方創生2.0の中でツーリズムに力をいれ地域と対話しながら行動したい。 ○ネイチャーポジティブ：「沢田上地区の居久根・周辺水田」が「自然共生サイト」に認定が決まり，市内で2件目となった。生物多様性，環境配慮を一層推進する。

約束内容	グリーンな農畜産業の振興
達成目標	持続可能な農畜産業へ向け，みどりの食料システム戦略とも協調し，環境負荷低減及びスマートな「グリーンな栽培」を推進し，地産地消の推進や，中山間地での特産農産物の実証，さらに，ささ結が10周年を迎え面積が拡大する中，PRを促進し，ササニシキ系の普及，復権を目指します。 新たに大型園芸施設の誘致等により園芸振興を強化します。 また，流域治水に関し，グリーンインフラとして田んぼを活用した，田んぼダムを一層推進します。
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★☆
達成状況	○有機・グリーン化：グリーンな栽培体系マニュアルを策定，今年度より有機農業産地化事業に採択され，有機JAS認証米の学校給食の実施，農水省でモデル事例報告，年度末にはオーガニックビレッジ宣言も行え，今後も国内モデルとして一層推進する。 ○ささ結：10周年の中，生産面積を倍増させ，また高価格帯で販売を実施できている。全体の米価が高く不安定要素があるが，市内飲食店や海外に向けても販路を拡大し生産面積を拡大したい。 ○田んぼダムについては，予定を超える面積を実施でき，全体で1500ヘクタールに拡大できた。

約束内容	有害鳥獣対策と『大崎ジビエ』の普及
達成目標	イノシシ被害が拡大する中、有害鳥獣対策を強化し、捕獲対策・侵入対策・地域環境対策・ジビエ利用の4本柱で対策を推進します。 『大崎ジビエ』については、イノシシを処理可能できる、東北初となる廃校活用のジビエ利活用等施設をフル稼働できるよう、捕獲強化も含め関係機関と連携して推進します。 また、鳴子温泉郷や飲食店、加工業者等と連携し、販路を確保しながら、大崎ジビエの魅力ある食を普及します。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	○大崎ジビエ：ジビエが市内3つの道の駅で販売され、東北初の新たな特産品ができ順調だが、供給量が足りなく、飲食店に提供するには至っていない。豚熱や放射能の検査状況にもよるが、供給量を安定しストックし、市内飲食店、鳴子温泉郷へも提供できるよう、地方創生2.0の一環でも推進する。 ○ジビエ加工品：市内加工業者と連携し、大崎ジビエフランクが完成した。今後は大崎ジビエフランクを含む加工品のふるさと納税やお歳暮商品などに向け進めたい。

約束内容	ゼロカーボンへの林業振興の推進
達成目標	大崎市森林ビジョンに基づき林業振興を推進し、カーボンニュートラルの実現に向け、森林環境譲与税を活用した森林整備の推進や、市民の森づくりを拡大し、さらなる森林保全の理解醸成を図ります。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	○森林経営管理：森林環境譲与税を活用し、意向調査、森林整備を進められている。今後は整備面積も拡大するため、一層計画的に推進を図る。 ○森林理解醸成：おおさき未来の森づくりでは、台東区との40周年記念事業も兼ねて実施し、台東区より好評であり台東区予算で交流継続希望の話もあり、交流も継続したい。（途中の林道が災害復旧事業実施中であり、新年度計画的に復旧を進める。）